

平成 20 年 6 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器 上場取引所 JQ
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細野 昭雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部部長 IR 担当 (氏名) 山森 光久 TEL (076)260-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 6 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 7 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 6 月期第 3 四半期	48,363	3.0	1,724	—	1,384	—	1,272	—
19 年 6 月期第 3 四半期	46,964	△11.5	△269	—	△212	—	△897	—
19 年 6 月期	61,765	△11.9	△44	—	111	—	△657	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 6 月期第 3 四半期	87	70	—	—
19 年 6 月期第 3 四半期	△61	12	—	—
19 年 6 月期	△44	73	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20 年 6 月期第 3 四半期	33,364	19,320	19,320	19,320	57.3	1,348	86	
19 年 6 月期第 3 四半期	35,494	20,033	20,033	20,033	55.7	1,346	28	
19 年 6 月期	34,910	20,738	20,738	20,738	58.6	1,393	17	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 6 月期第 3 四半期	1,802	△300	△300	△300	△1,166	△1,166	6,526	6,526
19 年 6 月期第 3 四半期	487	432	432	432	△511	△511	4,334	4,334
19 年 6 月期	4,554	317	317	317	△2,418	△2,418	6,477	6,477

2. 平成20年6月期の連結業績予想(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	64,900	5.1	1,920	—	1,580	—	1,380	—	94	41

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動)
[新規 一社(社名 ——) 除外 一社(社名 ——)] : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報等をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報等

当第3四半期におけるわが国経済は、4月1日に発表された日銀3月の短観にも見られるように、消費低迷で内需が不振な中、唯一下支えしてきた輸出産業にも円高や原材料高等で陰りが見られ、製造業を中心に企業マインドは悪化し、景気は後退局面に入っていると思われまます。当社をとりまくパソコン業界におきましては、J E I T A (社団法人電子情報技術産業協会)が4月25日に発表した内容によれば2008年1-3月のパソコンの国内出荷実績は前年同期と比較して台数では21.4%、金額ベースでも20.9%と大幅な減少傾向になりましたがパソコン関連市場においても同様、非常に厳しい環境で推移しました。

このような状況下、当企業グループは第3四半期も引続き「高コスト体質の是正」をテーマに積極的に戦略製品の開発・販売の強化に取り組んだ結果、法人需要については、期待の最需要シーズンでありながらS T B (セットトップボックス)の特注案件や液晶表示装置等は好調に推移したものの、法人全体の需要については、前述の通り、景気の後退懸念とともに、情報化に対する投資意欲は慎重さを増しており苦戦を強いられました。一方で個人需要においても、原材料高の環境下で、市場は企業間の競争激化で製品価格の下落傾向が相変わらず続いており、年末までは好調に推移していた320GB、500GBを中心としたハードディスクやワンセグチューナー等のマルチメディア製品、N A S製品等の売上が伸び悩む結果となり、売上高では前年同期と比較して6.3%減少しております。

また、製品全般を通して原価低減に努めた結果、前年同期と比較して8%近い売上原価の改善に繋がっており、利益面において当初の予想を上回る状況で推移しております。この結果、当第3四半期の業績につきましては、売上高483億63百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益17億24百万円(前年同期は2億69百万円の営業損失)、経常利益13億84百万円(前年同期は2億12百万円の経常損失)、四半期純利益12億72百万円(前年同期は8億97百万円の純損失)となりました。

[製品分類別連結売上高]

(百万円未満切捨)

品目	平成20年6月期 第3四半期		平成19年6月期 第3四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	8,815	18.2	11,362	24.2
ストレージ	15,276	31.6	13,618	29.0
液晶	10,168	21.0	10,522	22.4
周辺機器	8,609	17.8	8,161	17.4
特注製品	3,287	6.8	1,078	2.3
その他	2,206	4.6	2,222	4.7
合計	48,363	100.0	46,964	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報等

(1) 財政状態の分析

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15億45百万円減少し、333億64百万円となりました。これは、現金及び預金が21億92百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が19億83百万円、たな卸資産が7億38百万円減少したこと等によります。

当第3四半期における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億27百万円減少し、140億44百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が3億1百万円増加したものの、短期借入金金が26億48百万円減少したこと等によります。

当第3四半期における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億18百万円減少し、193億20百万円となりました。これは、利益剰余金が13億66百万円増加したものの、繰延ヘッジ損益が15億40百万円減少したこと等によります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、65億26百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は18億2百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益13億96百万円と、仕入債務の増加4億83百万円等による資金増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億円となりました。これは主に、有形無形固定資産の取得による支出2億42百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億66百万円となりました。これは主に、借入金の返済6億72百万円、配当金の支払1億47百万円、会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく取得等による自己株式の取得3億49百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報等

平成20年2月25日に公表しました通期の連結業績予想の内容を修正しました。詳細につきましては、平成20年4月28日付「平成20年6月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

(4) 当社は、平成20年4月18日付で経済産業省より当社製品LAN接続ハードディスク「HDL-160U」(平成18年10月販売終了製品)の1台がお客様の使用時において発煙故障の事故が発生した旨の報告を受けております。事故原因等の詳細につきましては調査結果が判明次第、改めて当社より発表させていただきます所存です。

5. (要約)四半期連結財務諸表
 (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年6月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年6月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年6月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)				%	
I 流動資産					
1 現金及び預金	4,334	6,526	2,192	50.6	6,477
2 受取手形及び売掛金	14,637	12,654	△1,983	△13.6	12,633
3 たな卸資産	7,538	6,799	△738	△9.8	6,478
4 その他	2,464	841	△1,623	△65.9	2,701
流動資産合計	28,975	26,821	△2,153	△7.4	28,291
II 固定資産					
有形固定資産	4,371	4,204	△167	△3.8	4,323
無形固定資産	503	445	△57	△11.5	523
投資その他の資産	1,644	1,893	248	15.1	1,772
固定資産合計	6,519	6,543	23	0.4	6,618
資産合計	35,494	33,364	△2,129	△6.0	34,910
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	10,449	10,751	301	2.9	10,351
2 短期借入金	2,648	—	△2,648	—	741
3 その他	1,524	2,380	856	56.2	2,172
流動負債合計	14,622	13,131	△1,490	△10.2	13,266
II 固定負債					
1 退職給付引当金	157	171	14	9.2	171
2 リサイクル費用引当金	—	347	347	—	300
3 その他	681	394	△287	△42.1	434
固定負債合計	838	913	74	8.9	906
負債合計	15,460	14,044	△1,416	△9.2	14,172
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	3,588	3,588	—	—	3,588
2 資本剰余金	4,308	4,308	—	—	4,308
3 利益剰余金	11,120	12,486	1,366	12.3	11,361
4 自己株式	△293	△602	△309	—	△293
株主資本合計	18,724	19,781	1,056	5.6	18,965
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	55	△9	△65	—	65
2 繰延ヘッジ損益	1,003	△537	△1,540	—	1,377
3 為替換算調整勘定	△6	△114	△108	—	57
評価・換算差額等合計	1,052	△660	△1,713	—	1,500
III 少数株主持分	256	199	△56	△22.2	272
純資産合計	20,033	19,320	△713	△3.6	20,738
負債、純資産合計	35,494	33,364	△2,129	△6.0	34,910

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 平成19年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	46,964	48,363	1,398	3.0	61,765
II 売上原価	42,041	41,109	△931	△2.2	54,988
売上総利益	4,923	7,254	2,330	47.3	6,776
III 販売費及び一般管理費	5,193	5,530	337	6.5	6,821
営業利益又は 営業損失(△)	△269	1,724	1,993	—	△44
IV 営業外収益	343	230	△112	△32.7	512
V 営業外費用	286	570	283	99.0	356
経常利益又は 経常損失(△)	△212	1,384	1,597	—	111
VI 特別利益	156	42	△113	△72.5	156
VII 特別損失	253	30	△223	△88.0	260
税金等調整前四半期 純利益又は税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△310	1,396	1,707	—	7
税金費用	562	75	△487	△86.6	635
少数株主利益	24	49	24	99.4	29
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	△897	1,272	2,170	—	△657

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成 19 年 6 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 6 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成 19 年 6 月期)
区 分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△310	1,396	7
減価償却費	401	383	553
売上債権の増減額(△増加額)	△324	△504	2,015
たな卸資産の増加額	△1,106	△498	△47
仕入債務の増加額	2,096	483	1,993
その他	△116	674	162
小 計	639	1,935	4,684
法人税等の支払額	△190	△167	△189
その他	38	33	58
営業活動によるキャッシュ・フロー	487	1,802	4,554
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得及び売却	419	△242	302
投資有価証券の取得及び売却	△9	29	△9
保険契約による支出	△0	—	△0
保険契約解約による収入	22	—	22
その他	0	△86	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	432	△300	317
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△減少)	△351	△672	△2,258
配当金の支払額	△147	△147	△147
自己株式の取得による支出	—	△349	—
その他	△12	2	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△511	△1,166	△2,418
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△286	110
V 現金及び現金同等物の増加額	421	49	2,564
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,913	6,477	3,913
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,334	6,526	6,477